



Mobile×Cloud で革新する医療現場のコミュニケーション

医療関係者間コミュニケーションアプリ「Join」

医療関係者が高セキュリティ環境下でコミュニケーションをとることができるアプリです。標準搭載された DICOM ビューワーで医用画像を閲覧、チャットに共有することで、夜間休日などに院外にいる医師へのコンサルテーションツールとしての活用や、救急患者の転院時の病院間連携・情報共有などに利用されています。



サービスのベネフィット

- リアルタイム・同報性 - 1 対 1 のみならず、グループに対してもプッシュ通知を送信でき、リアルタイムに効率的な情報連携が可能。
- 院内システムと連携 - 標準搭載された DICOM ビューワーで、MRI・CT などの医用画像にアクセス可能。
- 高セキュリティ - 国内の 3 省 2 ガイドラインにも準拠し、患者情報は匿名化の上、暗号化通信で共有。
- 世界で医療機器認証取得 - 日本、米国 (FDA)、欧州 (CE)、ブラジル、サウジアラビアの医療機器認証を取得。

サービスの利用事例

急患が出た際に、夜間 / 休日で専門医が院外にいる場面でも、チャットや画像を用いてスムーズな情報共有やコンサルテーションができ、院外の専門医の指示のもと当直の医師が対応することができます。

また、急を要する状態で専門医が病院に駆け付けている間にも情報共有ができるため、病院では専門医を待つ間に治療の準備を進めることができます。

複数病院で Join を連携すると、症例相談や患者紹介が容易になります。

緊急紹介の際には、瞬時に病院間で患者情報の共有が可能となり、救急搬送プロセスの効率化に繋がります。

AWS 選定のポイント

- AWSは拡張性と可用性があるため、柔軟にインフラ構成を構築することができ、世界累計30カ国への展開にも対応できた。

サービスのターゲットと効果

【医療関係者の方々】

コミュニケーションの促進により、職種間のコラボレーションが加速され、多職種連携や地域医療連携を強化できます。また、Join のチャットでリアルタイムに医用画像を共有しながら相談ができるため、緊急性の判断がしやすくなります。これにより、不要不急の呼び出しを減らし、医師の働き方改革に貢献します。

- 救急車が病院に到着する前に救急隊と病院で患者データを共有できるため、準備にかかる時間を節約できます。
- 医師の不要不急の呼び出しを削減できます。